

迎春

おかむら通信 第57号

新年号 平成22年1月

新年あけましておめでとうございます。
今年も、われわれスタッフと元気に
一緒にご自分の疾病と戦ってゆきましょう。

昨年来、私の周りで面白いことが起きています。向こうから、やってきたのです。昨年11月上旬に米国の若い企業家たちとの戸定邸で親睦と意見交換会の後、ケネディ宇宙センターから今年3月に飛び立つ山崎直子さんの来松と応援依頼、韓国釜山RCからの友好関係を求める通知、内モンゴルの方から母国への訪問依頼（チベット医学、モンゴルの現状）、今年のカンボジア支援旅行の機会（2月上旬に）、イギリスの病院のスタッフの来院と受け入れ受諾、と12月下旬までにこの様に、次々と日本の外を知る機会を与えていただいております。

院長より

今年の抱負：前年をのりこえてさらに変化、そして進化をします。**最近の出来事**：医療界をひっかきまわすほどの出来事、良くもあしくもありました。ダメージを受けた体力、精神力の調子を整えて出直します。**インフルエンザワクチン**：。12/28からようやく新型ワアクチンを19歳から64歳を除いて健康な人に接種できるようになりました。新型及び季節型ワクチンを積極的にみなさんに接種いたします、受付にお申し込みください。**千葉県・千葉市・千葉県医師会から大切なお知らせ**：松戸市内のドクターたちには積極的な方が多くないのですが、左3者はすでにより「効率的な医療」をまじめに考えています。われわれ医療従事者の負担が多いのですが、地域連携パス、医療のIT化、千葉大学病院の新EMIネット構想です。**EMIネットの動き**：この機能を使った松戸市の特定健診のIT化（日本で初めて）、レセプトオンライン化に寄与します。**医師の専門性について**：ドクターが専門性を主張するあまり、総合的医療を行う先生が極めて少ないのです。もっと他科を若いころに勉強すべきなのですが、そうすれば医師不足もかなり解消されていきます。おおざっぱな意見ですが、「**ペイントクリニック**」って何？：暮れに「先生のところはペイントクリニックをやっているのですか？」と聞かれました。ペイン（痛みの）クリニック（臨床、診療）というものです。もちろん開業当初からやっております。

当院の基本姿勢はMGH（マサチューセッツ総合病院）ペイントクリニックと同じ考えです。神経ブロックから合成麻薬を使ったり、心の診療、など範囲はとても広いのです。





管理栄養士松本先生から

おかむら通信に登場して1年、栄養指導を担当させていただいて約3年。この間、皆様に少しでもお役に立てる情報の掲載や生活習慣の改善などについてアドバイスさせていただきました。この度、私ごとではありますが新しい命を授かりしばらく育児に専念することになりました。今までの仕事が皆様の生活にお役に立てていたら幸いです。2010年以降の皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

院長の仕事コーナー-12月

04/夜 医師会と行政・薬剤師会・歯科医師会・市議会議員・国会議員との忘年会 聖徳大学にて。10/夜 医師会医療情報ネットワーク委員会と松戸市電子医療情報ネットワーク事業参加機関連絡協議会との忘年会 千葉大教授・千葉西総合病院・市立病院地域連携室・薬剤師会・MCS・MLLなどの主力メンバーが集う、八柱「はつかり」にて。14/夜 インドIT専門家との会談 当院にて 15/夜 松戸市医師会理事会 新しいインターネット展開、クラウドコンピュータリングなどについて 21/深夜 MCS・IT専門家と EMI ネットをどう存続させるか? 新しい構想について議論 当院にて。25/昼 当院の電子カルテへのオンラインレセプト導入の決定 当院にて。26/夕方 順天堂大学上部及び下部消化管外科医局員との集り(2009年度の総括)。東京 帝国ホテルにて。30/夕方 松戸市内の若手の有能な心臓循環器医と懇談(馬橋、某クリニックにて)。

院長の予定について

「カンボジア視察・支援」のため現地へ向かいます。日程は今年 02/10(水)から 02/15(月)まで 02/15 午後から外来を再開します。アジアで一番医療が遅れている地域、特に乳幼児死亡率が一番高い。大変な戦禍を乗り越える中で、心の傷を受け、貧困極まりない状況でありながら、人として生き生きと人生をまっとうしているように見える人々。何を支援すべきなのか? この命題をみてきます。



きれいな満月で幕を閉じた2009年でしたが、皆様はどのような2010のお正月をお迎えになられましたか? 新年号らしく、私達の今年チャレンジしてみたいことを紹介させていただきます。

院長: チャレンジしない後ろ向きの方々に彼らの幸福のために自ら姿勢を示したい

川名: 結婚・出産! 佐藤: 脳トレ 服部: 腹筋を続ける

古谷: パソコンのお勉強 石島: 週1回の筋トレ

岡村: 子供たちが巣立ち余裕のできた時間を家族を^Mを増やして楽しみたい



新年号担当は岡村(恵)でした。

本年も宜しくお願い致します。

